

第4回 意見交換会 資料

令和8年（2026年）7月5日

教育委員会事務局

整備の進め方

豊中市では『学校施設長寿命化計画』に基づき、基本的には築年数の古い学校施設から順次整備を進めることとしています。ただし近隣の学校とセットで改築することが効率的である場合は、周辺校を含め整備することも検討していきます。

建て替え後の学校種別

豊島小・中豊島小・第四中は、児童推計に基づく、将来に渡り児童生徒数が大きく増減する見込みがないため、**これまで通りそれぞれの小中学校として、建て替えを行うことを検討しています。**

建て替え手法の選定

- ・建て替えを実施するに当たっては、様々な検討事項がありますが、建て替え計画全体に大きく影響する重要な要素である「建て替え手法」を、他の検討ポイントに先立ち、検討する必要があります。
- ・豊島小学校・中豊島小学校・第四中学校の建て替え手法は2案考えられます。
 - ⇒ **単独建て替え案(それぞれの学校敷地内で建て替えを実施する案)**
 - ⇒ **仮設校舎利用案(豊島公園内に仮設校舎を建設し、周辺の学校を順次建て替える案)**
- ・建て替えにあたっては、**工事期間中においても最適な学習環境を確保**することが重要です。

建て替え手法や、整備後の学校の姿については、地域の皆様と対話を行いながら、整備を進めてまいります。

案1 単独建替え案

令和8年7月5日
豊島小学校・中豊島小学校・第四中学校
意見交換用資料

単独建替え案

- ✓それぞれの学校の敷地内で建替えを実施する案
- ✓運動場部分に新校舎を建設し、完成後に旧校舎を除却します。
- ✓敷地の条件により、工事を複数工期に分けて段階的に新校舎を建設する必要があります。

■配置イメージ図

① 第四中



※新校舎は継続して使用

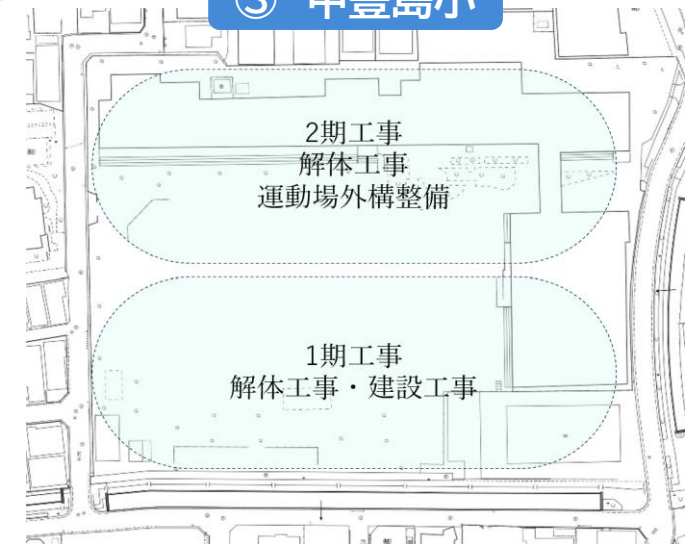
■整備期間：**6年程度**(設計2年、工事4年程度)

② 豊島小



■整備期間：**9年程度**(設計2年、工事5年～7年程度)

③ 中豊島小



■整備期間：**5年程度**(設計2年、工事3年程度)

ポイント

- ・通学路は変わりません。
- ・工事による騒音、振動等の影響を受けます。
- ・学校によっては整備期間の長期化が予想されます。
- ・各校ともに運動場の利用は大幅に制限されます。

※スケジュールや配置イメージは一例です。 3

案2 仮設校舎利用案

仮設校舎利用案

- ✓ 豊島公園内に仮設校舎を建設し、周辺の学校を順次建て替える案
- ✓ 仮設校舎で児童生徒が過ごす期間は、各校3年を想定(各校の工事期間)しています。
- ✓ 小規模な体育館・運動場の設置を検討しています。

■整備期間: **各校5年程度**(設計2年、工事3年程度)

■整備の順番(※1 ※2)

- ① 豊島公園に仮設校舎建設(設計2年、工事2年程度)
- ② 第四中学校の建て替え(設計2年、工事3年程度)
- ③ 豊島小学校の建て替え(設計2年、工事3年程度)
- ④ 中豊島小学の建て替え(設計2年、工事3年程度)

※1
整備の順番は、基本的に築年数の古い順となっておりますが、小学校・中学校で連続して建替工事期間に当たる児童生徒が出ないようにするため、第四中学校からの建て替えを検討しています。

※2
②③④について、設計は前の学校の工事中に行うことができるので、①から④までの延べ年数は、13年を想定しています。

■配置イメージ図(豊島公園)



■配置イメージ図(第四中学校)



■配置イメージ図(豊島小学校)



■配置イメージ図(中豊島小学校)



ポイント

- ・通学路の変更が生じます。
- ・工事による騒音、振動等の影響を受けることはありません。
- ・工事期間が短くなります。
- ・それぞれの学校について設計の自由度が高まります。

整備に伴う影響について

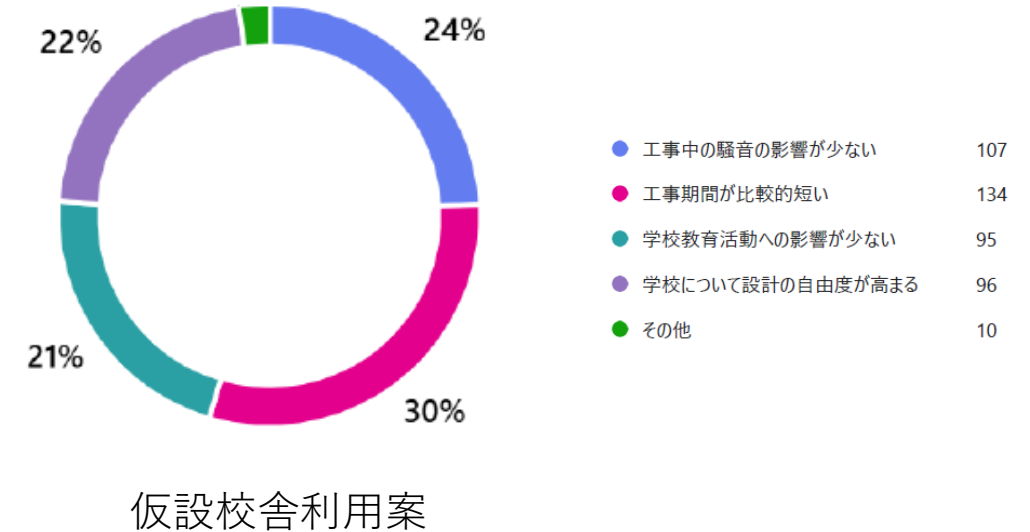
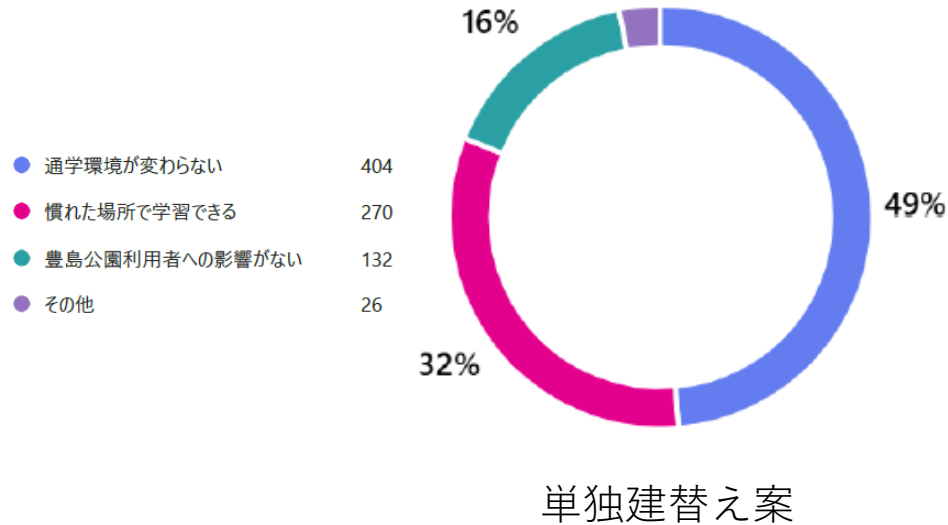
令和8年7月5日
豊島小学校・中豊島小学校・第四中学校
意見交換用資料

	仮設校舎利用案(拠点校方式)	単独建替え案 第4中	単独建替え案 豊島小	単独建替え案 中豊島小
工事期間	各校3年程度	4年程度	5～7年程度	3年程度
運動場	敷地内に設定することを検討中	・1期工事・2期工事期間 ⇒半分程度の制限 ・3期工事期間中 ⇒ほぼ全域の制限	工事期間中、ほぼ全域の制限	工事期間中、ほぼ全域の制限
体育館	敷地内に設定することを検討中	可能な限り、工事期間中体育館が存在する状態を維持	可能な限り、工事期間中体育館が存在する状態を維持	可能な限り、工事期間中体育館が存在する状態を維持
プール	外部のプール施設(近隣の学校、公営施設、民間施設)の利用を検討	外部のプール施設(近隣の学校、公営施設、民間施設)の利用を検討	外部のプール施設(近隣の学校、公営施設、民間施設)の利用を検討	外部のプール施設(近隣の学校、公営施設、民間施設)の利用を検討
通学	居住地域によっては、通学距離が長くなる場合がある。	下校時間帯に工事車両の往来あり	下校時間帯に工事車両の往来あり	下校時間帯に工事車両の往来あり
放課後こどもクラブ	敷地内にクラブ室を設置する予定	—	工事期間中、学校敷地外部での教室確保が必要となる可能性あり	工事期間中、学校敷地外部での教室確保が必要となる可能性あり
工事に伴う影響	—	工事騒音、振動、粉塵、工事車両の往来	工事騒音、振動、粉塵、工事車両の往来	工事騒音、振動、粉塵、工事車両の往来
周辺への影響	・公園利用について、広場利用ができる代替場所の確保を検討中 ・工事期間中、周辺住民に対する工事騒音、振動、粉塵、工事車両の往来の影響	工事期間中、周辺住民に対する工事騒音、振動、粉塵、工事車両の往来の影響	工事期間中、周辺住民に対する工事騒音、振動、粉塵、工事車両の往来の影響	工事期間中、周辺住民に対する工事騒音、振動、粉塵、工事車両の往来の影響

アンケート結果について(途中経過)

令和8年7月5日
豊島小学校・中豊島小学校・第四中学校
意見交換用資料

手法を選んだ理由



ご意見(自由記述)抜粋

- ・ 通学ルートの変更や通学距離が長くなることで事故や熱中症などが心配です。
- ・ 単独建て替えの場合、運動場が使えるのか？
校庭での体育授業は、どのように行うのか知りたいです。
- ・ 勉学に集中できる様に、騒音や振動に対する策を十分に講じて頂きたいです。

- ・ 工事中の学校生活の安全としてはどうなのか、想像がつかず、不安です。
- ・ 老朽化が進んでいるのでいち早く建て替えてほしいです。
- ・ 現在のどの学年の子にどの影響があるか、工法や時期順に教えていただきたいです。

通学環境

通学路の安全確保の検討

- ・カラー舗装、看板設置等のハード面対応



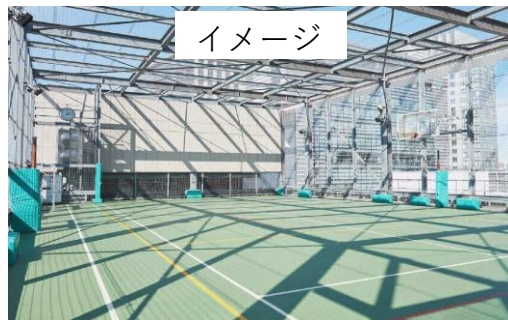
調査の実施・対応策提示

- ・仮設校舎利用案を採用した場合、通学距離が2kmを超え、通学時間が30分程度に収まらない地域が存在
⇒児童生徒の通学負担が大きい
⇒通学路の現地調査を継続し、状況ごとに適切な対応策を検討し、提示する。

運動場・体育授業・休み時間

仮設校舎利用案

- ・屋上運動場付体育館を検討
- ・豊島公園隣接施設(ローズ球場やテニスコート)使用を検討



単独建て替え案

- ・体育館の使用
- ・運動場の一部の使用
- ・近隣施設の利用を検討

騒音・振動



基準

- 騒音85db(掃除機・救急車のサイレン)
- 振動75db(家具や窓がわずかに揺れる程度)

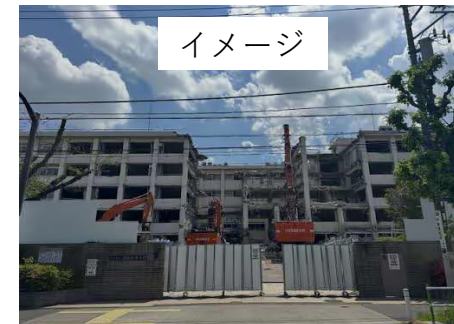
騒音・振動が与える影響

作業効率・集中力の低下・会話妨害

対策

工事用防音パネルの設置で-10~20db可能

工事中の安全性



安全対策

- ・工事エリアとの導線切り分け
- ・誘導員の設置を検討
- ・毎日の安全点検や危険箇所確認の徹底